



## 令和6年度 学校アンケート結果(7月実施)

下記の数値は、「そう思う」、「ややそう思う」、「あまり思わない」、「そう思わない」の4つの選択肢のうち、「そう思う」及び「ややそう思う」の肯定的な回答の割合(%)を合計したものです。 **青=90%超 赤=80%未満**

		教職員		児童		保護者	
		7月	12月	7月	12月	7月	12月
やさしい子	1	本校は、児童が「学校は楽しい」と感じるような指導や工夫に努めている。	96.0	あなたは、学校は楽しい。	85.6	お子さんは、楽しく学校生活を送っている。	94.6
	2	本校は、児童の心の居場所となるような、温かな学級づくりに努めている。	100	あなたは、友だちとなかよく生活している。	92.3		
	3	本校は、いじめに対して未然防止、早期発見、早期解決に努めている。	100	あなたは、「いじめをゆるさない」と思っている。	86.6	お子さんは、「いじめを許さない」という気持ちが高まっている。	92.4
	4	本校は、自己肯定感や自己有用感を高めることができる場面の設定や指導を行っている。	92.0	あなたは、自分にはよいところや得意なことがある。	88.4	お子さんは、自信を持って何事にも取り組んでいる。	78.4
	5	本校は、児童が場に応じたあいさつや返事について、すべての教育活動を通して指導している。	88.0	あなたは、きちんと元気なあいさつをしている。	76.1	お子さんは、「おはよう!」行ってきました等のあいさつや返事をきちんとできている。	89.6
	6	本校は、きまりを守り、仲良く協力して生活することの大切さをしっかりと指導している。	96.0	あなたは、学校や生活のきまりを守って生活している。	88.7	お子さんは、日常生活の中で、ルールやマナーを守り、生活することができる。	86.5
まなぶ子	7	本校の授業は、「アウトプット」、「試行錯誤」、「振り返り」を重視して、わかりやすい授業を展開している。	88.0	あなたにとって、学校の授業はわかりやすい。	85.6	お子さんは、学校の授業内容をおおかた理解できていると思う。	76.4
	8	本校の授業は、児童一人一人が課題意識をもって、主体的に学び合う活動を確保している。	84.0	あなたは、授業中、進んで考えたり、友だちと教え合ったりすることができている。	86.3		
	9	本校の授業は、児童の論理的表現力や言語活動の向上に努めている。	84.0	あなたは、「式・図・言葉」まず、次に、だからなどを使って、自分の考えをわかりやすく伝えている。	75.0	お子さんは、語彙(ボキャブラリー)が増え、表現力が豊かになっていると思う。	82.3
	10	本校は、家庭学習を習慣化させるための手立てを工夫し、定着に努めている。	88.0	あなたは、1・2年生20分以上、3・4年生40分以上、5・6年生60分以上、家庭学習をしている。	63.7	お子さんは、家庭学習が習慣化し、自ら進んで取り組んでいる。	55.3
	11	本校は、年間読書50冊の達成を目指し、読書の楽しさにふれさせたり、読書の機会を設定したりするなど工夫している。	96.0	あなたは、年間50冊以上を目標に、読書ががんばっている。	77.8	お子さんは、家庭でも進んで本を読んでいる。	34.8
たくましい子	12	本校は、体育の授業を中心に休み時間に外遊びを励行して、児童の体力向上に努めている。	100	あなたは、体育や休み時間に元気に運動している。	81.0	お子さんは、進んで運動し、体力を高めている。	65.1
	13	本校は、「早寝・早起き・朝ご飯」や規則正しい生活について、適切に指導している。	84.0	あなたは、「早寝・早起き・朝ご飯」を毎日、こころがけている。	78.5	お子さんは、「早寝・早起き・朝ご飯」など、規則正しい生活をしている。	82.1
	14	本校の給食では、献立の栄養について知らせ、好き嫌いをなく食べられるように指導している。	88.0	あなたは、給食中、好き嫌いをしてしないで、よく食べることができる。	66.2	ご家庭では、お子さんに好き嫌いをしないで、栄養バランスよく食べるなど、適切な食生活ができている。	62.0
	15	本校は、健康診断の結果をもとに、医療機関への受診を促している。	100	あなたは、健康診断の結果に注意して、病院に行ってきたとなおそうとしている。	84.2	ご家庭では、学校での健康診断の結果を踏まえ、積極的な医療機関への受診を心がけている。	92.8
	16	本校は、自転車乗車時のヘルメット着用を含め、交通安全を適切に指導している。	92.0	あなたは、自転車に乗る時のヘルメット着用を含め、交通安全のルールをきちんと守っている。	84.9	お子さんは、自転車乗車時のヘルメット着用を含め、交通安全のルールをきちんと守っている。	90.3
働き方改革	17	本校は、在校時間の短縮など、働き方改革が改善されつつあると思う。	92.0				
	18	本校は、コンプライアンスを遵守し、不祥事が起きにくい学校であると思う。	100				
	19	本校は、教育活動の発信に努めている。	92.0	あなたは、おうちで学校の話をよくしている。	75.7	学校の様子は、各種たより等やホームページ、お子さんの話を通じて、よく伝わっている。	84.7
	20	本校の教員は、人権感覚を磨き、その言動にも十分配慮している。	96.0	先生は、やさしく接してくれている。	89.4		
	21	本校の職員は、常に児童の話に耳を傾け、悩みや不安に応えようと努めている。	100	先生は、あなたの話をよく聞いてくれる。	86.3	学校は、お子さんの話に耳を傾け、悩みや不安に応えようとしていると思う。	83.1

在籍人数 305  
回答数 286  
回答率 % 93.8%

305  
224  
73.4%

## ○学校評価について

本校は学校教育法第42条、学校教育法施行規則第66条、文科省の学校評価ガイドラインにもとづき学校評価を行っております。その一環として7月に教職員と児童、保護者のみなさんにアンケートを実施、夏休み中に以下の4つのチームがその結果と各種データにもとづき、1学期の取組を見直し、2学期に向け対策を練っております。

そして今後につきましては、12月に再びアンケートを実施し、本年度の取組について総括(自己評価)いたします。2月には学校運営協議会において学校関係者評価委員会を兼ねて開催し、各チームの自己評価についてさらに適切な検証・評価を行っていただき、次年度の改善につなげていく予定です。

## 1 アンケート結果等の分析と今後の対策

### <やさしい子チーム>

- ・保護者の「お子さんは、自信を持って何事にも取り組んでいる」という問いでは、低い数値であった。学校では特別活動(学校行事や学級活動等)を中心に、子ども一人一人に活躍の場を提供することにより自己肯定感や自己有用感を高めていく。
- ・「あいさつ」については教職員・保護者に比べて、児童の数値が低い結果となった。児童の自発的なあいさつができるように、今後もあいさつ名人の表彰やあいさつ運動を通して、ねばり強く指導していく。
- ・「いじめ」に関しては、「安心して仲良くできる学級」を実現するためにも、児童、保護者ともに「いじめを許さない100%」を目指す。HPでも公開している「いじめ対策ナビ」をもとに各学級でいじめを許さないための取組を強化し、道徳や人権集会等を通してねばり強く指導していく。また定期的に実施している生活アンケート以外に、タブレット上に設置した悩みや不安の相談窓口にも児童から相談が寄せられているので、早期発見・早期対応につなげていく。

### <まなぶ子チーム>

- ・学習面に関しては、特に各学年共通して「わかりやすく伝える」といった面に課題が見られる。2学期以降も本校研究テーマである「伝え合う力の育成～学級の全員が主体的に安心して授業に参加するための工夫～」を推進し、授業研究、相互授業参観等を通して教員の授業力の向上と子どもたちの思考・判断・表現の能力を高めるための方法について模索していく。さらに読む、聞く、書く、計算する等の基礎基本の定着に向けて、ドリルによる反復学習、文字力・計算力テストの実施やeライブラリーなどのICT機器を使った学習を進めていき、子どもの基礎能力を高めていく。
- ・「家庭学習」については、教職員が高い数値を示している一方、児童・保護者の数値は低く差が見られる。質と量についても個人差が大きい。より一層、家庭と連携を図りながら、宿題や決められた課題以外の自主学習にも力を入れさせたい。
- ・「読書」に関しても低い数値であった。読み聞かせや図書室利用の機会を増やす取組などを充実させて、読書習慣を身につけさせていきたい。

### **<たくましい子チーム>**

- ・学校では、体育の時間をはじめ休み時間など運動を楽しんでいる児童が大半であるが、休日のスポーツ活動については個人差が大きいと思われる。ただし、1学期に行った体力テストの結果を見ると、昨年度に比べ総合評価Aに達している児童が約25%に達し(4.6%増加)、各種目も全体的に向上している。苦手な種目に対して体育の授業を工夫したり、校庭の運動環境を整備したりした成果であると思われる。
- ・給食を含め食生活に関して課題が見られる。学校では2学期以降、栄養教諭を招き、食事の大切を学ぶ出前授業を1、3年生で実施する。校内でも完食シールを配るなど食育に取り組んでいく。
- ・交通安全に関しては三者とも高い数値である。ただし通学班内のトラブルがときどき報告されている。集団による登下校は交通安全上、たいへん効果的であるものの、地域によっては通学班が機能しない、通学班そのものがない学校もある。本校は通学班存続のためにも班長、副班長のリーダーシップ、それにしたがう下級生のフォロアーシップを育てていきたい。ぜひ、各家庭の励ましと声かけをお願いします。

### **<働き方改革チーム・その他>**

- ・学校における働き方改革については、保護者の皆さまの温かいご理解をいただき、少しずつであるが改善されつつある。子どもたちにいつも元気ではつらつとした姿を見せ、授業を充実させることが結局は子どもたちの利益になり、そして現在の教員の危機的な「なり手不足」の解消や「離職者」、「休職者」の減少につながるものと確信している。今後もぜひ、ご理解とご協力をお願いします。
- ・児童への「おうちで学校の話をよくしている」の問いでは、児童の数値が比較的低い。学級のこと、授業のことなどの学校生活について、話題が持てるよう学校でも声かけをしたり手立てを講じたりしていく。各ご家庭でじっくりお子さんの話を聞いていただける時間を確保していただけると助かります。

## **2 自由記述のご意見・ご要望等について…すべてをご紹介できずに申し訳ありません。**

- ・たくさんのお褒めのことばをいただきました。たいへん励みになります。ありがとうございました。
- ・子どもたちから仲間はずれの訴えがありました。当該学年でなく、学校全体で対応しております。
- ・授業や生活面のお子さんの様子、運動会、持久走大会などをはじめとした学校行事のあり方など貴重なご意見をいただきました。可能な限り前向きに検討していきます。
- ・通学班を含め登下校について、送迎に関わることや指導のあり方、持ち物が重いとのことご意見をいただきました。現在、改善に向け対策を練っております。
- ・今回のようなアンケート結果を学校全体で共有することや、日頃の先生同士の報告・連絡・相談が不十分なのは、というご意見をいただきました。すべてのご意見を学校全体で読合せをし共有、検討をしておりますので、2学期以降の改善につなげていきます。

**12月にもアンケートを実施しますので、ご協力、よろしく願いいたします。**